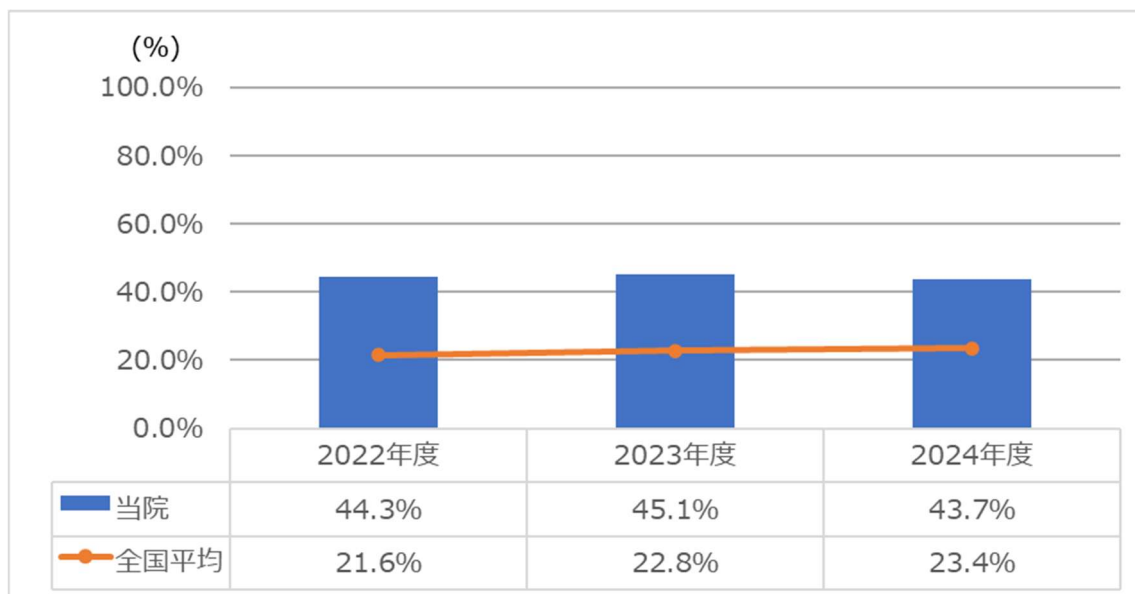


指標13 ハイリスク妊娠・分娩症例の割合



<定義>

分子	分母のうち、ハイリスク妊娠・分娩管理加算を算定された症例
分母	妊娠あるいは分娩に関連する疾病の治療・分娩のために入院した患者
期間	2022年度～2024年度(1年毎に集計)
対象	上記期間の退院患者

<解説>

当院は県内唯一の総合周産期母子医療センターとして、危険性の高い疾患をお持ちのお母さんや赤ちゃんを積極的に受け入れており、母体胎児集中治療室(MFICU)も6床設置しています。また、ふつうの正常妊娠分娩も受け入れており、陣痛室・分娩室・回復室が一体となったLDRを活用し、満足できるお産を目指しています。

また、生殖医療の進歩も著しく、リスクを持たれた女性の妊娠も増加しているため、ハイリスク率の増加に繋がっています。

※ 本データは厚生労働省提出用のDPCデータを基に作成されています。また、全国平均の値については、当院が参加している「医療の質と経済性に関する実態調査【京都大学大学院 QIP 事業】」における「医療の質の指標」の計測結果(事業に参加する全国の病院の平均値)を用いています。

【参考 URL】

<http://www.kch.kagoshima.jp/about/qip.html>(当院の QIP 参加について)

<http://med-econ.umin.ac.jp/QIP/acts.html> (QIP における計測結果)